

科目	人間発達学	担当	牧野 多恵子	履修学年	1年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

人間の身体的・社会的・心理的発達について学ぶ。作業療法・理学療法の専門科目の学習を積み重ねていく上で必要不可欠な、人間発達の基礎知識を修得できる。

【履修注意】

- ・授業時には毎回テキストを持参すること。
- ・グループワークを行い、レポート提出を求める予定である。
- ・受講生の関心・理解度によって、授業の内容は変更することがある。
- ・授業中の私語、携帯電話・スマートフォンの使用は禁止とする。

【評価方法】

グループワークレポート(1回)(40%)、期末筆記試験(60%)にて、総合的に評価する。

【試験について】

筆記試験

再試験対象者の条件:総合評価点が60点未満の者

【予習・復習】

予習:事前に教科書の該当する箇所を精読する。(30分)

復習:教科書・配布プリントなど参考にノートを整理する。(60分)

【教科書】

書籍名: イラストでわかる人間発達学 著者: 上杉雅之(監修) 出版社: 医歯薬出版

【参考書】

書籍名: 適宜紹介する

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	発達とは	発達の定義・人間発達学を学ぶ意義
2	発達理論	発達の諸理論
3	発達検査 1	発達の諸検査
4	発達検査 2	臨床評価としての発達検査
5	姿勢反射/反応	原始反射・姿勢反射/反応
6	運動発達 1	0～6か月の運動発達
7	運動発達 2	7～12か月の運動発達
8	運動発達 3	13～18か月の運動発達
9	運動発達 4	6歳までの発達
10	上肢機能の発達	把持機能・保持機能・手内操作
11	ADLの発達	遊び・食事・排泄・更衣
12	感覚・知覚・認知・社会性の発達	感覚・知覚・認知・社会性
13	学童期	学童期の発達の特徴
14	青年期	青年期の発達の特徴
15	成人期・老年期	成人期・老年期の発達の特徴
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ・筆記試験